

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）  
平成 31 年度採択テーマ  
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
火山噴火時を想定した規制区域内の降灰厚分布調査システムの開発 (研究期間：H31 年度～R3 年度)	東京大学 特任教授 永谷圭司	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>本研究は、噴火活動中の火山周辺で発生する土石流災害の被害予測・軽減を目標として、噴火により立ち入りの規制される火口周辺エリアにおいて無人ロボットを活用して火山灰の堆積状況を調査するシステムを開発するものである。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、UAV を用いて 3 cm までの降灰厚の計測が可能なシステムを開発し、現地実験によりそれを実証している。計測適地の抽出を遠隔で行う技術も開発しており、本研究成果は土砂災害防止法に基づく緊急調査の実施のための有効かつ安全な調査ツールを開発したものと評価できる。</p> <p>今後は、様々な環境下（試験地、気象条件、計測範囲、火山灰の特性の違いなど）において現地実証実験を行う等、開発したシステムの有効性や適用条件等を明らかにする検討を続けて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い